

中津市定住自立圏中心市宣言

現在わが国は、少子高齢化による人口減少社会へ本格的に突入し、特に地方では都市圏への人口流出ともあいまって深刻な問題となっている。また社会・経済情勢のグローバル化の中で地域経済は低迷しており、地方にとって定住人口を確保していくためには、地域に安定した経済と社会空間を創造していく必要がある。こうした状況の下、我々地方自治体には補助金や交付金に頼って事業を行う「事務遂行機関」から、真の自治を自らの手によって作り出していく「政策形成機関」への脱皮が求められており、さらには従来の行政区域に拘らず、共通の生活圈をもつ圏域における課題に迅速に対応していく柔軟性も求められていると言える。

今回定住自立圏の形成を目指す中津市と周辺自治体は、歴史的・文化的・経済的に深い結びつきがあり、近年ではこうした広域的繋がりがより強くなり、医療や就学といった生活機能、交通や情報、公共機関といった都市機能、さらには環境対策といった分野で共通した課題を抱えている。その中で中津市には周辺地域24万人医療圏の中核となる「中津市民病院」や中小企業の勤労者に対する福利厚生事業を行う「大分県北部勤労者福祉サービスセンター」等の公的機関をはじめ、ダイハツ九州を中心とした自動車関連産業や各種商業施設が集積しており、また東九州自動車道や中津日田地域高規格道路、重要港湾中津港などの物流インフラ整備が進むなど、一定の都市機能が備わってきている。

こうした背景を踏まえ、中津市は実生活や経済活動において、古くから共通の圏域を持つ周辺自治体と共に、お互いの持つ資源や機能を活かして圏域の諸問題に的確かつ迅速に対応し、圏域住民が安心して暮らせる地域づくりと圏域の一体的な発展に資するため、中心的な役割を果たしていくことを宣言する。

平成21年4月30日

中津市長 新貝正勝

1. 都市機能の集積状況及び利用状況等

中津市には住民の生活機能を確保し、圏域の振興を図る上で必要な都市機能について一定の集積があります。特に中津市民病院では50%以上が中津市外の患者の利用となっており、圏域における中核的な役割を果たしています。中津市は定住自立圏構想の推進に際し、圏域各自治体との役割分担により、お互いの機能強化を図りながら、圏域の一体的な発展を目指していきます。

《都市機能等の集積状況》

分野	都市機能	施設名
医療・福祉	公立病院	中津市民病院
	民間病院	村上記念病院、大貞病院、梶原病院、川島整形外科病院、酒井病院、つくし園、中津胃腸病院、中津第一病院、中津脳神経外科病院、松永循環器病院
	特別養護老人ホーム	いずみの園、悠久の里、望箭荘、望箭荘やまくに、やすらぎ荘
	老人保健施設	創生園、三光園、さつき苑、なのみ
	保育施設	市保育所（9園）、民間保育園（20園） 公設民営保育園（1園）
	児童相談所	中津児童相談所
教育	大学	大分県立工科短期大学、東九州短期大学
	各種専門学校等	中津情報処理学園
	高校	中津南高校、中津北高校、中津東高校、中津商業高校、東九州龍谷高校
	図書館	小幡記念図書館、三光図書館、本耶馬溪図書館、耶馬溪図書館、山国図書館
文化・観光・スポーツ	文化施設	中津文化会館、リル・ドリーム、勤労青少年ホーム、歴史民俗資料館、大江医家史料館、村上医家史料館、耶馬溪風物館、福澤記念館、コアやまくに、三光工芸センター

	スポーツ施設	ダイハツ九州アリーナ、中津総合運動場、三光総合運動公園、禅海スポーツセンター、耶馬溪水上スポーツ施設、コロナ運動場・体育館 ほか多数
	観光施設	福澤旧居レストハウス、八面山交流施設、洞門キャンプ場、西谷農村公園、深耶馬溪温泉館、耶馬溪サイクリングターミナル、奥耶馬溪憩の森、やすらぎの郷やまくに、やかた地区交流拠点施設 ほか多数
交通	公共交通	J R日豊本線（3 駅） コミュニティバス（12 路線）
	自動車専用道路	東九州自動車道（建設中） 中津日田地域高規格道路（建設中、一部供用開始）
	港湾施設	重要港湾中津港
消費	大型商業施設	延べ床面積3,000 m ² を超える店舗（11店舗）
	金融機関	銀行（8）

《都市機能の利用状況等》

・中津市民病院における小児患者数の居住地別内訳（平成19年度）

自治体名	外来数（人）	入院数（人）
中津市	14,655	698
宇佐市	5,784	350
豊後高田市	1,632	102
豊前市	1,713	135
吉富町	728	40
上毛町	838	54
築上町	403	44
その他	1,176	97
計	26,929	1,520

・大分県北部勤労者福祉サービスセンターの加入事業所数及び加入者数
 (平成21年1月1日現在)

自治体名	事業所数	加入者数(人)
中津市	1,429	6,875
宇佐市	228	1,582
豊後高田市	114	554
豊前市	30	227
吉富町	9	47
上毛町	9	59
築上町	-	-
計	1,819	9,344

・日豊本線各駅の1日平均乗降人数
 (平成19年度 JR九州より)

自治体名	駅名	乗降人数
築上町	築城	1,998
	椎田	2,066
豊前市	豊前松江	659
	宇島	3,572
	三毛門	316
吉富町	吉富	642
中津市	中津	6,598
	東中津	532
	今津	347
宇佐市	天津	152
	豊前善光寺	436
	柳ヶ浦	1,321
	豊前長洲	119
	宇佐	1,008
	西屋敷	33

・工業統計 事業所数、従業者数、出荷額等

(平成18年度 工業統計調査)

自治体名	事業所数	従業者数 (人)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
中津市	184	9,466	25,930,189	33,829,819
宇佐市	134	4,956	6,448,595	15,411,162
豊後高田市	51	2,089	1,481,632	2,853,616
豊前市	67	3,381	4,470,740	8,026,160
吉富町	10	886	1,428,654	9,247,168
上毛町	14	880	817,222	1,673,780
築上町	18	377	537,159	716,218

・卸売業・小売業の事業所数、従業者数、年間販売額等

(H19 商業統計調査)

自治体名	卸売業			小売業			売場面積 (㎡)
	事業所数	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万)	事業所数	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万)	
中津市	214	1,624	79,023	1,110	6,226	97,530	181,141
宇佐市	102	568	18,102	732	3,526	55,187	81,846
豊後高田市	59	329	11,599	344	1,499	17,668	42,944
豊前市	48	461	9,958	341	1,638	25,630	44,233
吉富町	13	68	1,915	57	266	3,036	3,279
上毛町	8	39	525	70	361	3,685	3,022
築上町	22	88	1,196	211	861	13,161	15,779

・中津文化会館の年間利用状況

年度	延べ利用人数
16年度	106,122人
17年度	99,048人
18年度	97,286人
19年度	97,676人
20年度	73,154人

2. 当面想定される圏域自治体との連携項目

圏域自治体と連携する項目としては、当面は下記のような分野を想定しています。ただし連携する分野は自治体毎に異なる場合があります。

(1) 生活機能の強化に関する取組

・医療

中津市民病院を核とした「小児救急医療センター」において年間を通して小児科の休日・夜間診療を実施できる体制の確立と圏域内外の医療連携を推進する。

・産業振興

圏域自治体にある中小企業の勤労者に対する福利厚生活動を推進するため「勤労者サービスセンター」を拠点にして、勤労者の加入促進やセンターの安定的運営を行う。

・その他

上記のほか、生活機能の強化に関する取組

(2) 結びつきやネットワークの強化に関する取組

・地域公共交通

圏域住民の利便性の向上を図るため、各自治体のコミュニティバスの相互乗り入れや乗り継ぎネットワークを形成する。

・デジタル・ディバイドの解消へ向けたICTインフラ整備

中津市が進める光ケーブルによる放送・通信の設備について圏域自治体間で共用もしくは運営の連携を図る。

・道路等の交通インフラの整備

『災害や救急医療など住民生活の向上と企業活動の活性化と物流の円滑化のため』東九州自動車道、中津日田地域高規格道路、宇佐国見地域高規格道路及び県道23号主要地方道中津高田線など圏域のネットワーク化に繋がる道路網の整備促進を働きかける。

・地域内外の住民との交流・移住促進

UJターン促進のため、空家情報の一元管理や宿泊体験の共催、圏域観光情報の共同発信を行う。

・その他

上記のほか、結びつきやネットワークの強化に関する取組

(3) 圏域マネジメント能力強化のための取組

・宣言中心市等における人材の育成

圏域マネジメントに必要な人材の確保や、マネジメント能力を養成するための職員研修等の実施及び圏域自治体間での職員等の交流。

・その他

上記のほか、圏域マネジメント能力強化のための取組

3 . 連携する自治体

(1) 通勤通学割合が 0 . 1 以上である自治体

大分県：宇佐市

福岡県：豊前市、吉富町、上毛町

(2) 上記のほか、中津市と人口定住のために連携する意思を有する自治体

大分県：豊後高田市

福岡県：築上町

定住自立圏域の人口及び中津市への就業・就学の状況

(H17国勢調査)

	人口	夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比率
中津市	84,368	84,355	85,799	1.017

(H17国勢調査)

	人口	就業者・通学者 総数(*1)	中津市への 就業・通学人口	中津市への 就業・通学率
宇佐市	60,809	25,248	3,193	12.6%
豊後高田市	25,114	9,718	468	4.8%
豊前市	28,104	12,003	1,684	14.0%
吉富町	7,053	3,167	1,060	33.5%
上毛町 (旧新吉富村)	4,128	1,910	504	26.4%
上毛町 (旧大平村)	4,044	1,707	519	30.4%
築上町 (旧椎田町)	11,737	5,238	214	4.1%
築上町 (旧築城町)	9,100	3,695	91	2.5%
計	150,089	62,686	7,733	12.3%

圏域全体人口	234,457
--------	---------

(*1) 従業者・通学者総数は自宅において従業する者の数を控除した数